

来週の「売り物記事」はこれ



2019年2月8日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

斉藤家二代、頂点への道

日本柔道「重量級」復活へ

10日（日）



来夏の東京五輪に向け、柔道男子は「重量級復活」を目指して強化が行われています。

柔道の名門・国士舘高（東京）2年の斉藤立（たつ）選手（16）は100キロ超級の新鋭です。五輪2連覇の実績を持ち、4年前にがんのため54歳で亡くなった父の仁さん譲りの猛稽古で、力を伸ばしています。その思いとは――。

斉藤選手や、彼ら若手を支える日本柔道界の「今」に迫ります。筆者は東京運動部の松本晃記者です。



つつる 道をゆく

サラダぼうる面 11日（月）

ヌードルライター、山田祐一郎さんによるエッセー。今回はコシの強さで知られる讃岐うどんを紹介しします。



香川県丸亀市で10年前に開業した「よしや」。讃岐富士の愛称で親しまれる飯野山に近く、機械を使わない純手打ちが信条です。シコシコ麺はツルッと口当たりが良く、ムギユムギユ躍り、プルンと弾みます。

作り手が個性を直接表現する本場のお味をどうぞ。

水道法改正

どうする「人口減時代のインフラ」

オピニオン面 13日（水）

地方自治体の水道事業が老朽化や財政難で苦境に立っています。

その「基盤強化」を目的とする改正水道法が昨年末に成立し、年内に施行されます。水道事業の運営を民間企業に委託する「コンセッション（公設民営化）方式」の推進も盛り込まれています。

人口減時代を迎えている日本。国民の暮らしを支えるために必要なインフラ（社会基盤）をどう維持していけばよいでしょうか。

時代が見える――。オピニオン面にご期待ください。

どうして防ぐ 子どもの盗撮

くらしナビ面 13日（水）

駅のエスカレーター、学校や塾、商業施設。子どもが被害者になる盗撮事件が後を絶ちません。

気づくまでに時間がかかったり、インターネットのサイトに写真が掲載されていることを知らなかったりと、自覚しづらい盗撮被害。

子どもはどんな状況で被害に遭うのでしょうか。親や周囲の人ができることはないのか、相談を受ける専門家らと対策を探りました。

歯の痛みに潜む病気

医療・福祉面 13日(水)

歯や口が痛いのに、原因は別のところにあるのが「異所性疼痛」です。痛みと関係なさそうな神経や筋肉などに原因があるため、治療が難航することも少なくありません。

「歯科医の見落としが原因で、がんの発見が遅れた」として訴訟に発展するケースも出ています。治療のカギは、これまであまり交流のなかった歯科医と医師との連携にありそうです。



今春センバツの注目校は？

スポーツ面 13日(水) から全8回

3月23日に開幕する「第91回選抜高校野球」に出場する注目校を紹介する企画「春はばたく」がスタートします。



昨秋の神宮大会に優勝し春夏通じて初の甲子園となる札幌大谷をはじめ、16年ぶり出場の伝統校・桐蔭学園(神奈川)、創部からわずか7年で初出場を果たした啓新(福井)、名将・高嶋仁前監督の後を継いだ中谷仁新監督(元阪神)が指導する智弁和歌山、選手16人の米子東(鳥取)など、8校を密着取材でレポートします。

エクセレントNPO大賞決まる

くらしナビ面 14日(木)

一人じゃないよ——。社会の課題解決に取り組む優れたNPO(非営利組織)を顕彰する「第6回エクセレントNPO大賞」の大賞に、がん患者とその家族を支援する「がんサポートコミュニティー」(東京都港区)が選ばれました。

国際組織の日本支部で、質の高い活動を続けてきた点が評価されました。サポートコミュニティーに支えられる患者の皆さんに話を聞きました。

「源氏物語」を現代の文体に 作家、角田光代さん

夕刊特集ワイド 14日(木)

「対岸の彼女」や「八日目の蟬(せみ)」など数々のベストセラーを生み出してきた作家の角田光代さんが、小説の執筆から遠ざかること4年になります。なんと角田さんはこの間、「源氏物語」の現代語訳に取り組んでいたのです。

過去にも多くの作家らが現代語訳を発表してきた古典。いま、直木賞作家をとりこにする魅力はどこにあるのでしょうか。

角田さんにじっくり聞いてきました。